

# 令和8年3月市議会定例会 市長提案説明(要旨)

2月6日～3月5日の会期中、令和8年3月市議会定例会が開催されました。市長が冒頭で述べた提案説明の概要をお知らせします。

## 「寛容と対話」を大切に、未来につながる市政を進めます

### 新市誕生20周年記念

平成18年3月6日の4市町村合併により誕生した新生上田市は20周年を迎えます。この間、地域間の連携と交流を通じて着実に歩みを進めることができたのは、市民の皆さまの御支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

節目となる年を迎えるに当たり、市では昨年からフォトフレーム設置や子どもたちによる庁舎ペイント事業など「新生上田市誕生20周年記念事業」を実施しています。今後も市民主体の取り組みに冠付与を行い、7月には記念式典を開催し、次の発展につながる機運醸成に努めてまいります。



### 資源循環型施設の整備

市長就任以降、最重要課題として取り組み続けてまいりました資源循環型施設の建設につきまして、新ごみ焼却施設の発案から四半世紀を経て、建設地の決定に至りました。

上田地域広域連合が整備する施設本体は、最適な事業者の選定作業や建設地である清浄園の解体設計を進めるとともに、清浄園に代わる「し尿前処理下水道投入施設」も令和8年度中の完成を目指して順調に進捗しております。

市が進める周辺整備事業は市場調査や測量を進め、また、地域のまちづくりについてはこれまでの協議内容を踏まえ、必要な経費を令和8年度当初予算へ計上しました。諏訪部自治会については、昨年末、新役員のもとを訪問して建設的な意見交換の場をお願いし、前向きな御意見をいただいたところ。今後も歩みを止めることなく確実に事業を進めてまいります。

### 有機物リサイクル施設の見直し

一方、有機物リサイクル施設に

☎ 行政管理課  
☎ 23-5163

つきましては、令和6年12月から事業費縮減などの精査を進めていますが、生ごみ排出量の減少や資材費高騰、財政状況を踏まえ、当面、建設を見合わせることにいたしました。しかし、生ごみの減量・再資源化は国の方針にも合致し、資源循環型施設の負荷軽減にもつながる重要な取り組みであり、必要性は変わりません。今後も、市民の皆さまとの合意形成に丁寧に取り組みながら、もみ殻や落ち葉などさまざまなバイオマス資源の活用も調査研究し、循環型社会の実現に向け、有機物リサイクルシステムの構築を目指してまいります。

### 上下水道事業の現状と今後

上下水道事業につきましては、人口減少による料金収入の減少や老朽施設・管路の更新需要の増大に対応するため、令和7年4月に上下水道料金を改定し、健全経営に努めています。

水道事業の広域化は、安全・安心な水道水の安定供給を将来にわたり確保する手段の一つとして検討してきましたが、現時点での結論は出ていません。経営への影響、料金水準、施設整備のあり方などを重要な協議事項と位置付け、慎重に議論を重ねている段階であります。今後も、地域の実情に最もふさわしい水道事業のあり方を丁寧に検討し、方向性を示してまいります。

### 第三次上田市総合計画の開始

平成28年に策定した第二次上田市総合計画が令和7年度末で終了し、令和8年度から第三次上田市総合計画がスタートします。審議会での議論を中心に、小中高生を含む幅広い世代の皆さまの参画をいただいで策定され、将来都市像を「ひと・まち・輝くしあわせ実感都市」と定め、2035年に人口14万2000人以上の維持を目標としています。

6つの重点視点として「市民協働推進」「人生100年時代への対応」「こどもまんなか」「ジェンダーギャップ解消」「持続可能な社会づくり」「最先端技術活用」を掲げ、急速な人口減少や多様化する課題に柔軟に対応し、将来にわたり安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

これまでの成果を確かなものとし、次の10年につながる市政を着実に推進する決意です。

## 3月議会初日に提案した議案の概要

- 条例案(16件)  
上田市組織条例中一部改正についてほか
- 令和7年度補正予算(6件)  
一般会計2件、特別会計1件、企業会計3件
- 令和8年度当初予算(9件)  
一般会計1件、特別会計5件、企業会計3件
- 事件決議案(12件)  
辺地総合整備計画の策定について、上田市過疎地域持続的発展計画の変更についてほか
- 報告案件(1件)  
専決処分した令和7年度上田市一般会計補正予算第6号の承認について



市ホームページ  
ID:125708



提案説明はインターネットで  
動画・全文をご覧いただけます